

九州産業大学工学部の e ポートフォリオの導入・運用

発表者 藤崎 渉 (九州産業大学 工学部機械工学科)

新しい工学教育のあり方が2000年以降精力的に検討されて、学生が経験する大学の正課教育・課外教育ならびに個人的体験をいかに自己成長に有効に活かすかの様々な取組がなされている。その一つに e ポートフォリオがあり、下記に示す「計画→実行→振り返り→工夫」により、学生の自己成長PDCAサイクルを効果的に促進していこうと取り組んでいるものが「KSU-e ポートフォリオ」です。

- < 計画 Plan > 学生は半年・1年間の自己成長の目標を設定
- < 実行 Do > 目標を達成するための実行や成果を記録
- < 振り返り Check > 集積した記録をもとに達成度や改善点を熟慮
- < 工夫 Action > 更なる改善・工夫を加えた計画を立案・実践

学生は定期的に自らの目標達成度を振り返りながら、意欲的に改善に取り組み、小成功体験を積むことにより、自己成長の仕方を体得的に学することができる。この「KSU-e ポートフォリオ」は株式会社NTTデータ九州の LiveCampus (図1) をクラウド利用で運用しており、以下に示す特長がある。2012年6月から機械工学科で試験的運用を開始し、9月から工学部(1-3年)、2013年4月からは工学部全体(1-4年)で運用している。

- (1) 利用者側で自由に設定できる質問項目・回答項目
- (2) 教務システムとのシームレスな連携
- (3) 大学におけるポートフォリオ運用全般をカバーする豊富な機能
- (4) SINET を利用したセキュリティの高い DC 通信

本発表では、工学部 e ポートフォリオの1年半の運用状況と今後の展開について報告する。

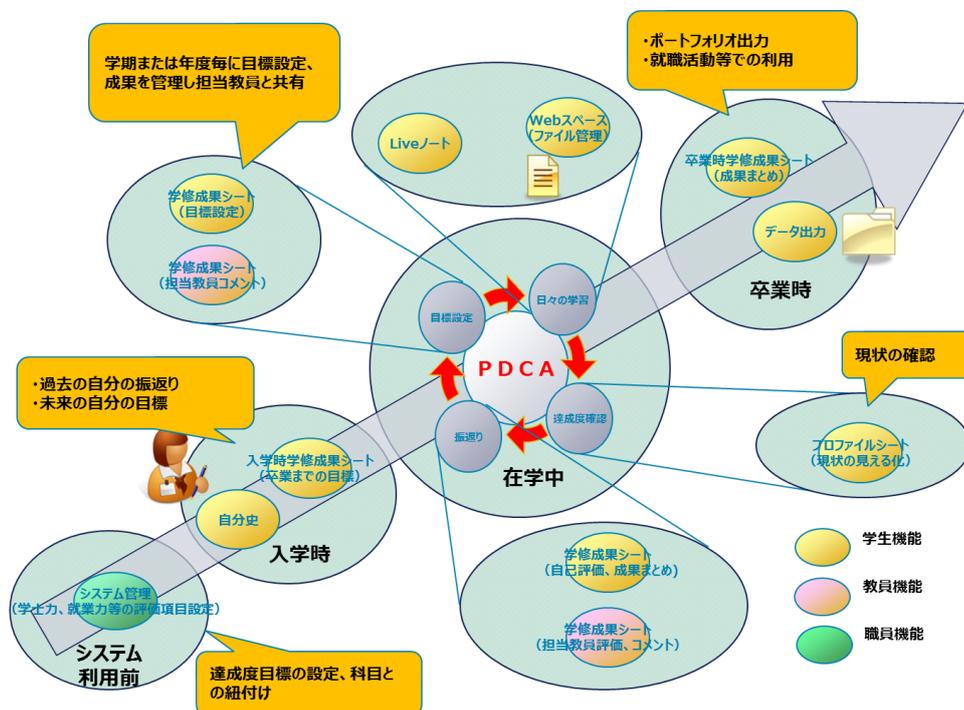


図1 e ポートフォリオ 「LiveCampus」